

ふじのみや探検

第12-2号 図書館のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

富士宮図書館年表

ひみつ1 富士宮の図書館はいつできたの？

1929年（昭和4）大宮小学校に、大宮町立図書館ができました。開館してから今年で85年たちました。ずいぶん長い時間ですね。今、図書館の建物は、のこっていません。では、大宮町に図書館ができる前と、できた後ではどうちがうのでしょうか？時計のほりを85年前にもどしてみましょう。

昭和のはじめ、日本はまだまだ、まずしい国でした。小学校を出た後、すぐに働いた人もたくさんいました。その中には、もっと勉強したくて昼はたらいた後夜、学校で勉強する人もいました。勉強して、試験に合格すると、給料も上がり会社でもえらくなれたからです。

でも、こまった事があります。試験を受けるために必要な本は、高くてなかなか買えないのです。そこで「大宮町の発展のためにも、図書館を作り、勉強したい人のための本を用意しよう」と大宮小学校の校長先生を始め、みんなでお金を集めました。

昭和4年8月、ついに大宮町にはじめての図書館ができました。場所は、大宮小学校講堂の南、広さ10

1平方メートル、防火設備がととのったりっぱな図書館です。初代館長は、土屋勝太郎さんです。土屋館長は、大宮町の初代町長もつとめた人です。このとき75才でしたが、たのまれると喜んで引き受けました。

土屋館長は、3500冊の本を選んで買いました。そのなかの1000冊は、試験勉強に必要な本です。その頃、ほかの町の図書館は、1200冊ぐらいしか本を持っていなかったのので、大宮町立図書館の3500冊は、とても多い数になります。

この本を使って勉強した、たくさんの方が試験に合格しました。そのため、昭和9年には、「大宮町立図書館は、すばらしい」と県でただ一館、選ばれて文部大臣から表彰されました。

◇ことばの説明

○大宮町立図書館・・・昭和4年、まだ富士宮市はなくて、大宮町とっていました。

○学校で勉強する人・・・中学生ぐらいの人が夜、大宮実業補習学校で勉強していました。

年	できごと
1929年（昭和4）	大宮町立図書館ができる。 （大宮小学校） 初代館長 土屋勝太郎
1932年（昭和7）	大宮町に大火事が起こる。
1941年（昭和16）	太平洋戦争が始まる。
1942年（昭和17）	富士宮市がたんじょうする。 富士宮市立図書館になる。
1945年（昭和20）	富士宮市立図書館が、くうしゅうで焼けるとこまるのでこわされる。 太平洋戦争がおわる。
1946年（昭和21）	お寺図書館になる。 （大頂寺 本堂） 富士宮市立図書館になる。 （福石神社の北側）
1967年（昭和42）	富士宮市立図書館がうつる。 （現 市民文化会館敷地南側）
1969年（昭和44）	富士宮市立図書館をたてる。 （現 市民文化会館の駐車場西側）
1989年（平成元）	富士宮市立中央図書館をたてる。
1993年（平成5）	富士宮市立西図書館をたてる。
2010年（平成22）	富士宮市立芝川図書館ができる。

ひみつ2

図書館でどんなことができるの？

「本が好きな人！」あっ、たくさん「はい」っていう元気な返事をありがとう。もちろん図書館では本を借りることができます。図書館に来て、本だなをながめながら、「今日は何を借りようかな？」と見ていくのも心が豊かで楽しくなりますね。また、読みたい本が決まっているあなたは、図書館のホームページから予約することもできます。そうすれば、図書館のカウンターですぐ本を受け取ることができます。

「お母さんに本を読んでもらうのが好きな人！」これは全員だね。お話を聞いていると、どんどん自由に想像のつばさが広がっていくね。図書館では、お母さんに代わっておはなし会・えほんをよむ会をやっています。じゅうたんの部屋だからリラックスして聞けるね。そのほか、映画を見たり、音楽をきいたりもできます。

レファレンス室では、富士山学習で調べたいことを「この本を参考に見たら」と、相談にのってくれます。もし、富士宮市の図書館にない本でも、ほかの図書館から借りてくれます。(これって、すごい!) 日本中の図書館がつながっているってことだね。

図書館は、あなたが知りたいことに答えてくれるところです。つまり、あなたの知を高め、成長していくお手伝いをしてくれます。さあ、知識の森を探検!

ひみつ3

富士宮に図書館はいくつあるの？

3つの建物(中央図書館・西富士図書館・芝川図書館)と2台の自動車図書館(ひばり1号・ひばり2号)があります。

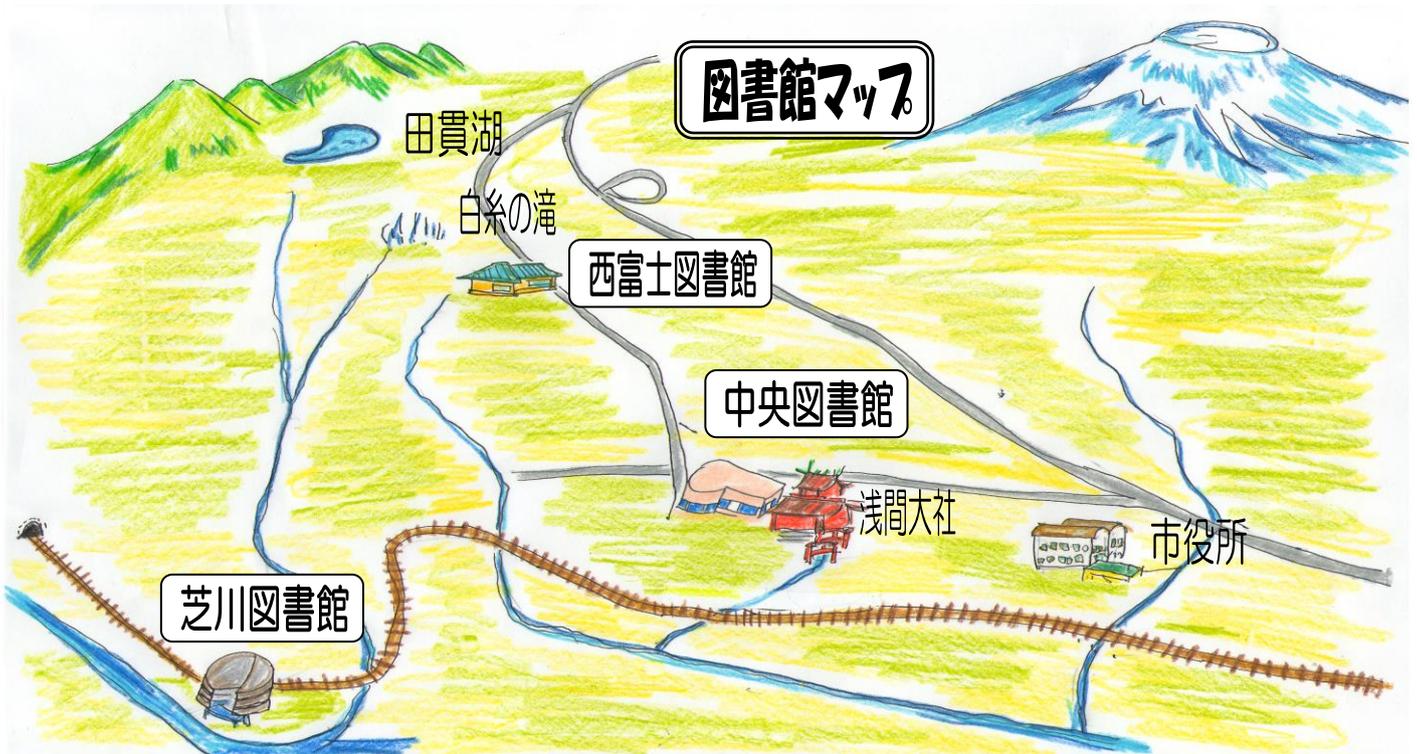
ここでは、西富士図書館と芝川図書館についてしょうかします。

西富士図書館は、上井出に作られました。「北部に図書館がほしい」というみんなの願いで、市政50周年を記念して作られました。木をたくさん使い、窓を広く取った明るいつくりになっています。ワンフロアなので、とても広々と、使いやすくなっています。8万冊の本が用意されています。

芝川図書館は、芝川駅の近くににあります。窓からは身延線走る電車を見ることがもできます。他の図書館が休みの月曜日にも開館しているので便利です(火曜日が休館日)。2階ラウンジでは、食事を取ることがもできます。

図書館と自動車図書館、それと駅前交流センターと大富士交流センターの図書室はコンピュータがつながっています。あなたが中央図書館で借りた本を、他の図書館で返すこともできます。また、他の図書館の本を中央図書館に取り寄せて借りることもできます。

とても便利ですね。



ひみつ4

図書館から遠い人はどうするの？

昭和40年ごろ、図書館は、1つしかありませんでした。遠くて図書館に行けないが、本を読みたいという声がありました。そこで図書館では、車に本を積んで、子ども会の人の家に本をとどけ、読んでもらっていました。でも、車では本を多くつむことができません。もっとたくさん読みたいという声が強くなりました。

そこで、ひばり号ができました。今、ひばり号は、64か所(2019年)のステーションを2台で、月に2回ずつまわっています。

ひばり1号は、3000冊^{さつ}、ひばり2号は、1300冊^{さつ}の本を積んで、あなたの家の近くに行きます。

ひばり号のお姉さんに「今度こんな本が読みたいの」とお願いすると、次のときに持ってきてくれます。

下の写真は、2016年(平成28)に購入したひばり2号の写真です。

そのほか、「駅前交流センター^{えきまえこうりゅう}」や「大富士交流センター^{おおふじこうりゅう}」の図書室の本も、図書館の利用カードで借りることもできるので、一度行ってみてくださいね。

また、南部公民館・富士根北公民館・富士根南公民館・富丘公民館・西公民館・上野会館・柚野公民館・芝川公民館にも図書館の本があります。あなたの家の近くの場所で利用してください。

◇ことばの説明

- ステーション・・・ひばり号が止まる所、ここ为本が借りられます。
- ひばり2号・・・2トントラックを図書館用に作り変えました。



ひばり2号

まめ知識

図書館ができる前は、本を借りられなかったの？

江戸時代の終わり、日本のまわりに外国の船が来て、^{かいこく}開国をせまりました。世の中が、さわがしくなっていました。

その頃、大宮町には図書館がありません。本を読んで、新しいことを知りたい大宮の人たちはどうしたのでしょうか？じつは本を貸^かしてくれるところがありました。それがかぎや薬局です。

浅間大社から神田通りを西にいくと宮町西の信号に出ます。そのかどにかぎや薬局があります。ここから『古書出入帳^{こしょでいりちょう}』というノートが見つかりました。そのノートを見ると、おもしろいことがわかります。かぎや薬局が持っていた本^{むりょう}を無料で貸しているのです。本の種類は、中国の本・星の本・算数や土地の長さをはかる本^{びょうき}・病気の本・マンガなどさまざまです。中には、うらないの本やうらないの道具なども貸し出しています。借りていく人は、浅間大社の神主さん・お坊さん・お医者さん・お店屋さんなどです。本当に図書館みたいだね。

では、かぎや薬局にない本を読みたい人はどうしたらいいのでしょうか？実は、ほかからも借りることができました。大宮町の人、おたがいに持っている本を大切に貸し借りしていたのです。

江戸時代に図書館という言葉^{ことば}はありません。言葉はなくても、大宮町の人たちの間で、知識を広げていくしくみができていたのですね。

◇ことばの説明

- 開国・・・外国と自由にいたり来たりすること。
江戸時代の日本は、さ国といって、外国に国^とを閉ざしていました。
- 古書出入帳^{こしょでいりちょう}・・・かぎや薬局が1841年(天保^{てんぼう}12)に書いたノート。貸し出した本の名前が書いてあります。



うらないの道具



土屋勝太郎さん



※後の富士宮市立図書館



大宮町立図書館 (昭和4)



富士宮市立図書館 (昭和21) (福石神社の上)



富士宮市立図書館 (昭和44)



◇『第12号・図書館のひみつ』は、次の資料をもとに作りました。

- 1 『富士宮市の図書館のあゆみ』 富士宮市立中央図書館／富士宮市 2009
- 2 『富士宮市史上巻』 富士宮市編纂委員会／富士宮市 1986
- 3 『葵 18号』 静岡県立中央図書館／三創 1984
- 4 『月の輪 第5号』 富士宮市郷土史同好会／緑星社 1990
- 5 『史実 土屋勝太郎伝』 佐野十三良／緑星社 1989
- 6 『宮本区誌』 富士宮市宮本区／緑星社 2000
- 7 『岳麓大観』 若林今朝一／高原印刷所 1934
- 8 『富士宮市市勢要覧 昭和36年版』 富士宮市役所／星光社 1962
- 9 『富士宮市市勢要覧 昭和43年版』 富士宮市役所／静岡英文印刷 1969
- 10 『郷土の歩みを訪ねて 大正デモクラシーと図書館』 佐野十三良／岳麓 1994

